

畜産敷料製品製造作業フロー 桑畑建設(株)

①搬入車両受入及び計量



管内の伐採工事現場より、木質系産廃を搬入する。

・自然木は畜産敷料の原材料とし

・解体材は、焼却処理 する。



②保管場所に荷下ろし、搬入物選別作業及び集積



畜産敷料用原材料(自然木)と焼却処理用木質系産廃(解体材)は別に保管する



③前処理



畜産敷料用の木くずはカッターで大割するとともに、付着している土、石、異物は取り除く。

前処理後の木くず



④ 破碎作業



前処理後の木くずを破碎機に投入して破碎を行う

- ・破碎後の木材チップは風や雨の影響を受けないように建屋内に落とし込む。
- ・大気汚染対策として、破碎機には飛散防止ガードがあり飛散の防止をしているほか、破碎機に材料を投入する位置以外の三方は、壁面で仕切っている。

- ・騒音・振動防止対策として、破碎機のエンジンルームは密閉化された騒音防止設計となっているほか、機械操作等人的工夫により騒音振動を軽減させる。



⑤ ふるい機で選別



- ・ふるい機で選別する
- ・20mmのふるいを通過した木材チップを製品(畜産敷料)とする。
- ・ふるいを通過しなかった木材チップは、ベルトコンベヤーにより、再度、破碎機に投入される。

20mmふるい



⑥ 製品の保管



- ・木くずを破碎処理した畜産敷料は、建屋(チップヤード)内に保管し、飛散流失の防止と品質の確保を行う



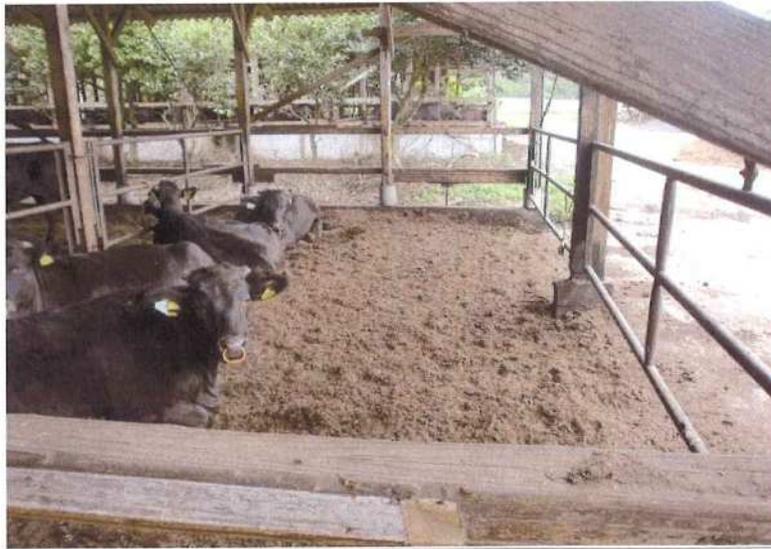
建屋(チップヤード)の外観



破碎後の木材チップ
製品 畜産敷料



畜産敷料
牛舎への搬入



畜産敷料
使用状況



畜産敷料
使用状況